



東京全労協

2015年6月1日 74
東京都港区新橋6-7-1
川口ビル6F
TEL. 03-5403-1650
FAX. 03-5403-1653
発行人 纈纈 朗
定価 1部 10円

2015 陸にも海にも空にも 基地はいらない！

沖縄平和行進に参加して

2015年5月は、歴史に残る月になるだろう。この歴史の分かれ目での方向に歯車を動かすのが問われる時に沖縄の地に行つた。

5月14日夕刻羽田を飛び立った私たち東京全労協35

名は、那覇で大阪全労協からの参加者2名と合流し、先発していた久保さん、江田さんと全労現地駐在員・下地さんの出迎えを受けてツアーは開始された。

5月15日は、復帰43年を迎える。この日私たちはまず辺野古へと向かった。辺野古の浜にあるテントで説明を受けた後、東京全労協と全国一般東京労組の檄布をフェンスに貼った。この後、ヘリパット基地に反対する高江の地に行き闘いの現状を聞き、今後も支援し

ていくことを心に誓った。さらに北上し、祖国復帰闘争碑文のある辺戸岬へ向かった。碑文は「この碑は...闘いをふり返り 大衆が信じあい 自らの力を確かめ あい決意を新たにしようためにこそあり...」と刻まれている。この言葉をかみしめながらこの日の行動を終えた。

翌16日は、宜野湾市役所前を出発とする平和行進に参加した。南コースは、2004年米軍ヘリが墜落した沖縄国際大学の前を通過する。参加者はかわるがわるシュプレヒコールのリードを行った。道端や家の窓から振られる手に励まされながら行進を続けた。途中右翼の宣伝カーからの妨害があったが、宜野湾市海浜公園までの行進を貫徹した。

「対馬丸記念館」と「沖縄戦・ホロコースト写真展示館」に行った。沖縄の怒りの原点を胸に集会に参加できたことはとても良かった。集会場の正面最前列にジュゴン3匹を並べて参加した私たちは、注目を集めたようだった。集会は、司会者の女子高生の初々しくも実感のこもったリードで進められ、場外での参加者も含め3万5千人が結集した。翁長知事の「辺野古に基地を作らないことが、普天間の危険性除去の解決策だ」という力強い発言には、会場を揺るがす拍手が鳴りやまなかった。

18日は、早朝普天間基地前で行われている米軍への抗議行動に参加し、出発まで各自自由に過ごし那覇空港での解散式を行い帰路についた。私は、今回のツアーに参加し、沖縄の熱い心と闘いに触れることができた。決意も新たに、職場で地域でこれからも沖縄の人々ともに闘い続けたい。南部全労協・藤村妙子



左上：辺戸岬、左中：辺野古浜、左下・右下：県民大集会、右上：シュワブ周辺を抗議の行進

休む間もなく、私たちは再び辺野古へ向かった。辺野古では、ゲート前の集会和デモにわずかな時間だったが参加した。バスの中で昨日私たちが貼った檄布が右翼の手ではがされたという報告が東京労組の組合員で辺野古ゲート前の行動に参加するため現地に滞在中の石原さんからあった。また、私たちが2日間乗ったバスガイド・松田さんは、平和ガイドとして、出身地の東村のことも話してくれた。バスの車内も含め沖縄の今と過去を学ぶことができた。

17日は、いよいよ県民大集会だ。集会に向かう前に

6・20米軍横田基地反対集会・デモ

米軍横田基地へのオスプレイ配備反対！ 自衛隊のオスプレイ購入反対！

米海兵隊普天間基地の即時閉鎖・返還と辺野古新基地建設計画の断念を求めます。
オスプレイの沖縄配備の即時撤回と全国での低空飛行訓練の中止を求めます。
米軍横田基地にC V22オスプレイ配備反対！米軍の配備計画の即時撤回を求めます。
日米安保条約を破棄し軍事力にたよらない真の平和を構築しましょう。

2015年6月20日(土)
集合場所：福生公園 (最寄駅 JR牛浜駅)
時間：13:30集合 15:00デモ出発

主催：米軍基地に反対する実行委員会
連絡先：東京都港区新橋6-7-1 川口ビル6F
TEL:03-5403-1650 FAX:03-5403-1653
賛同金・カンパ振込先
郵便振替：00140-5-322942
口座名義：米軍基地に反対する実行委員会



第86回日比谷メーデー

7千名の結集で成功を勝ち取る!!

第86回日比谷メーデーは、5月1日に日比谷野外音楽堂で開催され、約7千名の参加者で成功に行われました。

今年のオープニングは、沖縄辺野古の闘いで歌われている「座り込めここへ」を、日比谷メーデー合唱隊のリードで参加者全員が立ち上がり腕を組んでの合唱となりました。

式典議長は、小澤一雅さん（国労東京地本）と木下孝子さん（全国一般東京労組）が行いました。冒頭、議長団の呼び掛けにより、震災被害者に対する黙祷が参加者全員で行われ式典が始まりました。

連帯挨拶は武藤弘道都労連委員長から受け、来賓挨拶は山本隆東京都産業労働局長と福島みずほ参議院議員から受けました。また、メッセージが韓国民主労働組合総連盟と第86回中央メーデー実行委員会からあり披露されました。

アトラクションは「鳥キクジロウ&NO NUKES RIGHTS」のライブで脱原発や憲法改悪を題材にした唄が歌われました。決意表明は、非正規労働者から浅川喜義さん（郵政ユニオン20条裁判原告）、外国人労働者から橋本秀吉（在日ブラジル人全国ネットワーク）、争議関係から小金井俊弥さん（全国一般フジビグループ分会）、反戦平和運動から高田健さん（平和といのちと人権を！5・3憲法集会実行委員会）から訴えがありました。

今年も統一メーデーは実現せず、今日の「分裂メーデー」が固定化されています。もう一度労働者の一層幅広い結集と闘いの広場が求められていることはいくらでもありません。

このことは、日常的・恒常的に課題別共闘などを通じてながら訴えていくことが必要です。引き続き、労働者全体の統一メーデーの実現に向けて奮闘しよう!!



オープニングは闘いの現場から『座り込めここへ』を全体合唱した。

今15春闘は、昨年と同様に政府から賃上げ誘導を行う官製春闘となり、一部大企業でわずかな賃上げがされたものの、中小企業の改善にはつながらず、消費税の増税も加わって賃金格差は更に拡大しました。

統一メーデーの実現を！
今年も統一メーデーは実現せず、今日の「分裂メーデー」が固定化されています。もう一度労働者の一層幅広い結集と闘いの広場が求められていることはいくらでもありません。

20年前、組合に加入分会を結成し、会社に対して申し入れを行いました。その後はよくあることですが、ありとあらゆる組合つぶしが行われましたが、特に記しておきたいのは、仲間の一人が自宅前で拉致され、空き地で三人組に鉄パイプで滅多打ちにされ、腕を折られ、すねは骨が露出する程でした。

時として、経営者はそのわずかばかりの権力が労働者に対して全能であるかのような振る舞いを行い、それが会社や労働者の為であるかのごとく言い放つ思考が破綻している者が存在します。

私考ですが、至公な道理が通用しない経営者はその立場から退場してもらい、そしてその立場は労働者が担えばよいのではないのでしょうか。単に、労働者が経営者になることではなく、すべての労働者が搾取される事なきようお願いします。

組織労働者、外国人労働者等による怒りとすべての労働者の労働条件全般の改善「首切り自由」を許さない闘いが課題となりました。また、集团的自衛権行使容認を突破口に戦争国家体制に突き進む憲法改悪、沖縄の民意を無視した辺野古新基地建設の強行、雇用破壊に繋がる労働法制の改悪など安倍政権の暴走を止める闘いとなりました。

今年の特別スローガンは「労働法制の改悪反対！一日8時間労働制の破壊を許さない！」、「福島を忘れない！原発の再稼働反対すべし！」「集団的自衛権の行使反対！戦争国家体制を許すな！」とし、デモでは沖縄辺野古新基地建設反対の横断幕やゼッケン、プラカードも数多く出され、シュプレヒコールもその内容が訴えられました。

わすかな未来への輝きを結成し、会社に対して申し入れを行いました。その後はよくあることですが、ありとあらゆる組合つぶしが行われましたが、特に記しておきたいのは、仲間の一人が自宅前で拉致され、空き地で三人組に鉄パイプで滅多打ちにされ、腕を折られ、すねは骨が露出する程でした。

私考ですが、至公な道理が通用しない経営者はその立場から退場してもらい、そしてその立場は労働者が担えばよいのではないのでしょうか。単に、労働者が経営者になることではなく、すべての労働者が搾取される事なきようお願いします。

く至公な分配のもと、その生活を豊かにする事が最優先ではなく、できる限り不幸に陥ることがない仲間が助け合い、市場主義となつた社会と闘争し続ける事が守るべきわすかな未来への輝きだと考えています。申し遅れました、私、出身は全統一労働組合・光輪モーターズ分会、現在は同じく城北食品分会に所属しております。こちら自主生産です。東京全労協常任幹事として、末席に加えさせていただきます。よろしくお願致します。全統一労組・久野 茂

沖縄連帯・横田オスプレイ配備阻止！ 軍事基地に反対する5.29学習会を開催

去る5月29日に都内・日比谷図書館小ホールにおいて、軍地基地に反対する学習会を開催しました。この学習会は6.20米軍横田基地反対集会の前段の取り組みとして開催されました。この間、東京全労協は沖縄平和行進を取り組み、今年4月には沖縄・辺野古へ闘争支援として仲間を派遣してきました。数年前から関東・東京所在でも沖縄闘争に連帯した取り組みとして企画してきました。5.29学習会では各地の米軍基地に反対する取り組み報告を中心に岩国基地、神奈川基地、横田基地からの報告、そして沖縄（辺野古）現地闘争参加の報告がありました。沖縄・辺野古の闘いに連帯すること、新基地建設反対、横田基地オスプレイ配備反対オスプレイ配備反対などを確認しました。



東京全労協常任幹事の紹介